

EARTH MAN
SERIES

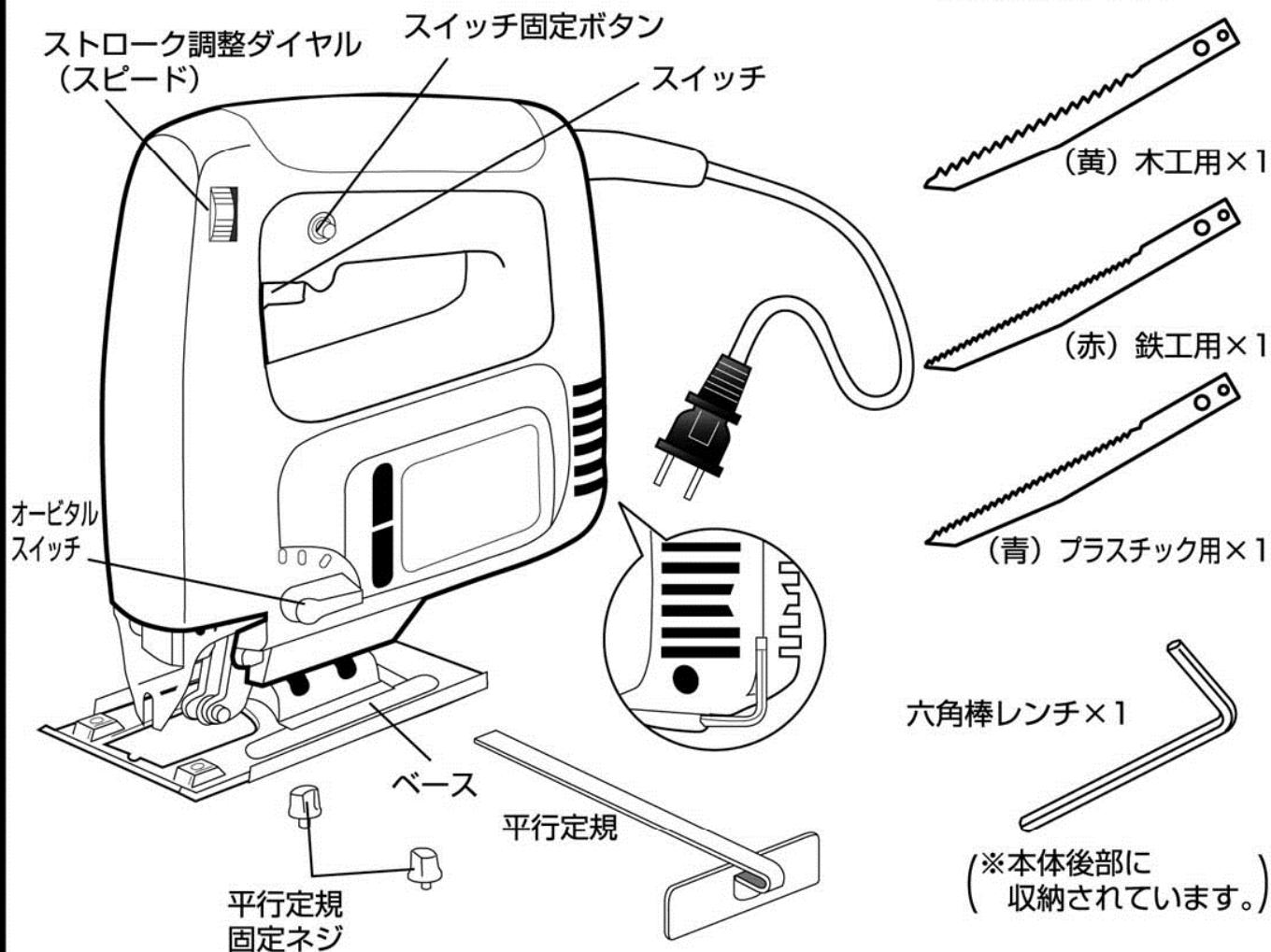
ELECTRIC ORBITAL JIG-SAW

オービタルジグソー ダイヤル式無段变速 EJS-30



取扱説明書 ご使用前に必ずお読みいただき、お手元に大切に保管して下さい。

本体各部の名称とセット内容



仕様

- 電圧…100V 50/60Hz
- 電流…5.2A
- 消費電力…500W
- ストローク数…～2800min⁻¹(回/分)
- ストローク…18mm
- 傾斜角度…左右0～45°
- 質量(本体重量)…約2kg
- コードの長さ…約1.8m
- 定格時間…30分

能力

- (垂直時) (45° 傾斜時)
最大切断能力…木工／60mm・40mm
軟鉄板／8mm
アルミ板／15mm

用途

木材、合成樹脂板、軟鉄板等の切断に。

この度は、お買い上げ誠に有難うございます。

御使用に際しては必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用下さい。

お読みになった後は、必ず保管して下さい。

安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなた自身や周囲に及ぶ可能性のある危険を防止する為に守っていただくものです。

また注意事項は、危害や損害の大きさと重大性の程度を明示する為に、

▲ 警告（人が死亡または重傷を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容）

△ 注意（人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容）

の2種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってお使い下さい。

本機はDIY商品として開発されています。一般家庭用として使用し用途以外には使用しないで下さい。

▲ 警 告

- ご使用にあたって、必ず取扱説明書をお読みになり使用方法を理解した上でお使い下さい。
- 作業時には保護メガネ・マスクを着用し身軽な服装で行ってください。また長い髪は帽子等で覆ってください。軍手や袖口の開いた服、ネクタイ、ネックレスなどの装身具、長髪は巻き込まれる恐れがあり危険です。
- 故障、異常時は直ちに電源を切り作業運転を中止してください。絶対に自分で修理や分解、改造しないでください。お買い求めの販売店または（株）高儀までご連絡ください。
また本体を誤って落としたり、ぶつけた時は損傷、変形がないことを確認してください。
- 本体、スイッチ等を改造したり部品の追加、変更をしないでください。想定できない事故が発生する恐れがあります。
- 使用前に本体、先端工具、保護カバーなど可動部分の変形及び破損、位置調整、締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか正常に運転するか十分に確認してから使用してください。
- お使いになる前には必ず電源コードや電源プラグを点検してください。無理に引っ張ったり挟んだりせず、熱、油、尖ったものに近づけないでください。コードやプラグを痛んだまま使用されるとヤケド、感電、火災などの原因となります。
- 先端工具・ジグソーブレードの取付けは必ず確実に行ってください。
- 指定以外の先端工具・ジグソーブレードは使用しないでください。また取扱説明書に従い確実に取付けられているか確認の上ご使用ください。
- 電源につなげる前（調整、取付け）に用いた工具類が取り外してあることを確認してください。工具類が飛びケガの原因になります。
- 本体は確実に保持してお使いください。
- あまりにも小さなものの切断は危険ですのでおやめください。また加工するものは、クランプ、バイスなどでしっかりと固定して作業してください。
- 使用直後、ブレード・加工物・本体（モーター）は大変熱くなっていることがあります。ヤケドの恐れがありますので冷えるまで手肌に触れないでください。また、加工物にかえりがついてケガをする恐れがあります。
- 作動中、（切屑、排出部）に手や身体、顔などに近づけないでください。大変危険です。
- 作業中、切屑が（金属の場合、火花となって）飛散しますので注意してください。ガソリン・ガス・シンナー・塗料・接着剤など引火性、爆発の恐れのある場所では使用しないでください。
- 運転させたまま床などに放置しないでください。
- 作業中、埋設物（電線管、水道管、ガス管）に接触による感電、水漏れ、ガス漏れの恐れがありますので埋設物のないことをご確認の上作業してください。ジグソーブレードで電源コードを切断しないよう注意してください。
- 加工する対象物の中に異物（釘・ネジ）がないか、下に障害物（刃が届く床）がないか確認してください。刃こぼれだけでなく強い反発力が生じケガの原因になります。
- 切りはじめ、切り終わりに強い力がはたらきます。ご注意ください。加工物を万力などでしっかりと固定してご使用ください。

- 体調のすぐれない時や作業に疲れた時は使用をひかえてください。又、炎天下での作業はできるだけ避けしてください。作業をされる場合は暑さ対策をし、体調に十分注意してください。
- 足場の不安定な所や無理な姿勢での作業は思わぬ事故につながる恐れがあり危険です。また高所での作業の際は下に人がいないか注意し工具の落下などがないように十分気を付けてください。
- 安全な作業をする為には、作業場はいつもきれいに整理をし、**十分な照明が必要です**。作業にじゃまになるものは移動、又は取り除いてください。
- 整理整頓を心がけ関係者以外は作業に近づけないでください。また使用後は幼児の手の届かない所に保管してください。
- この取扱説明書に記した**能力を超えた苛酷な作業**（強く押し付けて回転が止まるようなこと）をさせないでください。無理な作業は製品の損傷を招くばかりではなく危険です。
- むやみに振り回したり、作動させながら運んだりせず正しく機械を使用してください。設計された速度で安全に作業を行ってください。機械や付属品に設計されていないような作業はしないでください。
- 電源プラグ・通気穴にホコリが付着している場合はよく取り除いてください。
- 使用時やスイッチの開閉時、内部から火花が発生し見ることがありますが故障ではありません。また、ガソリン・ガス・シンナー・塗料・接着剤など引火性・爆発の恐れのある場所では使用しないでください。
- 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。誤って100V用のものを200V用電源に接続して運転しますとモーターの回転が異常に高速となり機体が破損する恐れがあり危険です。**本機は100V用です**。また、発電機より電源を取らないでください。
- プラグを電源に差し込む時、抜く時は必ず**スイッチが切れていることを確認してください**。また、停電の時はスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
- コードをつかんで電源からプラグを引き抜くことはおやめください。必ず差し込みプラグを持って抜いてください。
- 点検、掃除、先端工具を交換する場合、お手入れをする場合、使用しない場合、作動すると危険な場合はプラグを電源から抜いてください。スイッチをOFF（固定の位置）にしておいてください。不用意に作動しないように注意してください。
- 本体を移動する場合は必ずプラグを電源から抜いてください。スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 感電の恐れがあります。ぬれた所や湿気の多い所・雨中での使用やぬれた手でプラグを触ったりしないでください。また使用中に身体をアース（接地）されているもの（電子レンジや冷蔵庫、パイプ等）に接触しない様にしてください。

△ 注意

- 延長コードが必要な場合は、十分な太さ〈公称断面積・芯線断面積〉(0.75mm²以上)の電源コードでできるだけ短くお使いください。目安として本体コードと同じ被覆を施したコードを使用してください。
- 機体の風窓はモーターを冷やす為に必要です。埃が飛ぶからといって**風窓をふさがないでください**。ふさぐとモーターの温度が上昇し焼損の原因となります。
- 法令及び各都道府県などの条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないよう状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。
- 油やグリスが付着した製品は保持しづらく危険です。製品が汚れた時は柔らかくよくしぼった布で水拭きしてください。汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。（乾いた布で水分を残さないように拭き取ってください。）ワックス、アルコール類、シンナー、ベンジン等のご使用は製品の破損や故障の原因となります。
- 常温(0℃～40℃)で使用してください。直射日光の当たる場所、高温になる場所に放置しないでください。（作業中・途中・保管時）モーターの冷却が行われずモーター焼け、故障の原因になります。
- 火のそば、暖房器具のそば、直射日光下、閉切った車の中、クーラーの風の直接あたる場所には、放置しないでください。変形、変色、劣化の恐れがあります。
- 雨中やぬれた場所、風通しの悪い場所、湿気の多い場所、ゴミ、ホコリの多い場所での長時間の使用、保管は避けてください。
- 連続起動運転は30分以内にしてください。短時間（連続約30分）の使用に設計されています。モーターが過熱する恐れがあります。長時間の連続使用はしないでください。

使用方法

ブレードの取付け方法

※ブレードの交換は必ずプラグを電源から抜いて下さい。
※ブレードの交換時は取り付け面の切粉等を拭き取って下さい。切粉等が原因でブレードの締め付けが不完全になる場合があります。

1 付属の六角棒レンチでブレード取付ネジをゆるめます。

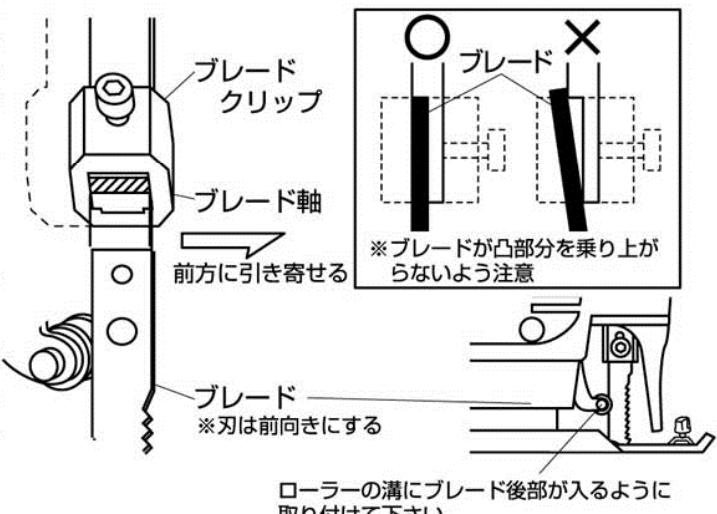
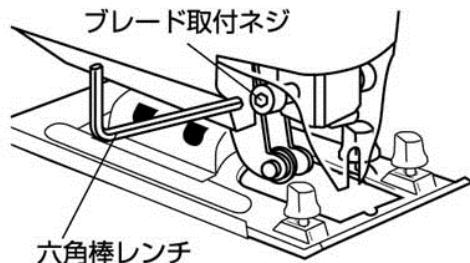
2 ブレード軸、ブレードクリップを前に引き寄せ、取り付けるブレードをブレードクリップとブレード軸の間に刃が前向きになるようにし凸部分に当たるまで差し込んで下さい。その時ブレードが凸部分を乗り上がらないよう注意し、ブレード取付けネジを確実に締めて下さい。

※ブレード取付けネジの締め過ぎにご注意下さい。
ブレードクリップが破損する恐れがあります。

※ブレード軸、ブレードクリップを前に引き寄せても、ローラーがあたる為取り付けにくい場合は、オービタルスイッチを「2」にして下さい。

※ローラー部には、ときどき潤滑油をさして下さい。

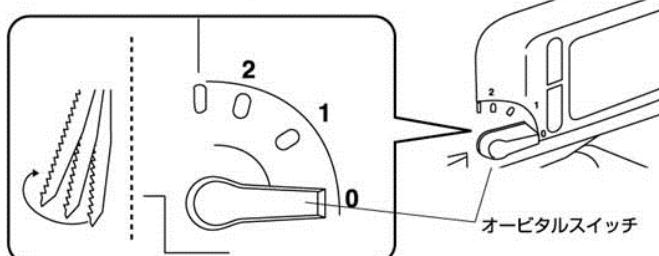
※ブレードを取り外す場合は逆の手順で外して下さい。



オービタル機構

オービタルスイッチにより、オービタル機構が働きます（しゃくり運動）。

0. ストレート運動（ピストン運動）
1. オービタル運動 弱
2. オービタル運動 強



オービタルスイッチと用途選択の目安

オービタルスイッチ	用 途
0	軟鉄板・アルミ板・プラスチック・木材・合板のきれいな切断
1	アルミ板・木材・合板の切断
2	木材・合板の高速切断

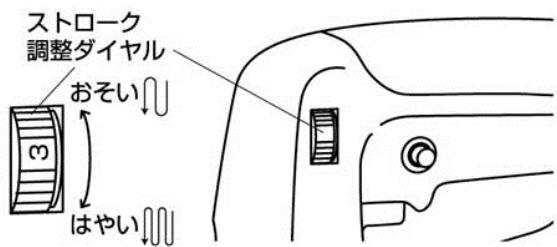
※上記に示したものは、あくまで目安です。加工物により、動かなくなる場合があります。オービタルスイッチを調整して使用して下さい。

⚠ オービタル運動はストレート運動より振動が大きいので本体の保持、加工材の固定は、特に注意行って下さい。又、加工物により、動かなくなる場合があります。オービタルスイッチを「2」→「1」→「0」と調整して使用して下さい。

⚠ 軟鉄板・プラスチックの切断、又曲線切りには、オービタル機能は使用しないで下さい。

ストロークの調整（無段变速）

ストローク調整ダイヤルで、ストローク数、（スピード）回転数を調整して下さい。遅い回転は切断の位置決めに役立ちます。



※低速での連続作業はモーターに負担がかかり故障の原因になります。

※調整したストローク数（スピード）で加工物が切断できない（ブレードが止まる）場合は、ストローク数（スピード）を調整し直して下さい。

スイッチ・スイッチ固定ボタン

〈スイッチ〉

スイッチを引くと、ストローク調整ダイヤル、オービタルスイッチで設定したように作動します。

〈スイッチ固定ボタン〉

スイッチを引いた状態のまま固定させます。

①スイッチを押したまま

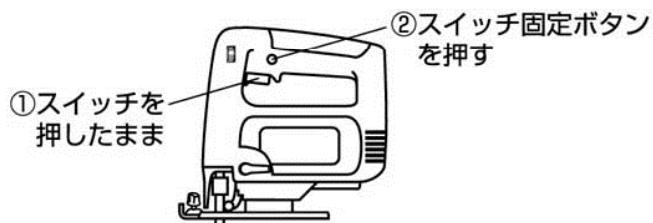
②スイッチ固定ボタンを押します。

再度スイッチを引くと固定ボタンは、解除になります。

（ストロークと材料選択の目安）

ストローク						
1	2	3	4	5	6	MAX
← 木材 →						
← アルミ →						
← 軟鉄板 →						
← プラスチック →						

※左記に示したものは、あくまで目安です。加工物により、動かなくなる場合があります。ストロークを調整して使用して下さい。



※作動している状態のまま、床などに放置しないで下さい。大変危険です。スイッチ固定ボタンは、必要以外の時は必ず解除して下さい。またプラグを電源に差す前にスイッチ固定ボタンが解除になっているか必ず確認して下さい。

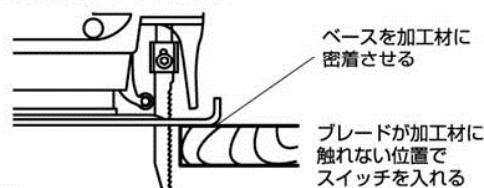
切断方法

※ベースを加工材から浮かして使用したり、急激にブレードをひねるような無理な切断はしないで下さい。

※加工材、切断条件に適したブレードを使用し、スピードを調整して下さい。一般に、木材等柔らかい材質や直線切りは高速、樹脂・金属や曲線切りには中・低速が適しています。

ベースを加工材に密着させ、ブレードが加工材に触れない位置で切断線に合わせ本体を垂直に保持します。

スイッチを入れ、ブレードが動いている状態にしてから切断を開始して下さい。

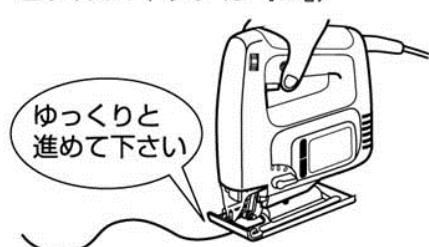


〈曲線切り〉

小さな円弧や複雑な形状に切断する場合、送り速度またストローク数を遅くすることにより加工しやすくなります。

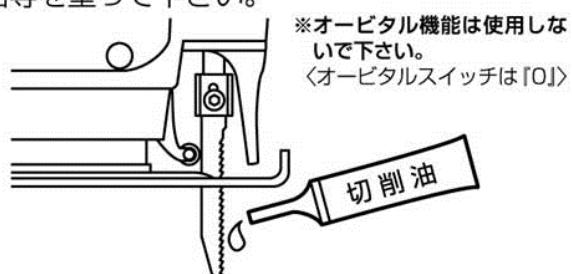
※オービタル機能は使用しないで下さい。

〈オービタルスイッチは『O』〉



〈金属の切断〉

金属の切断時にはブレード及び切断部に切削油、ミシン油等を塗って下さい。

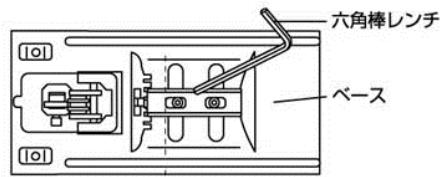


※切削油を塗る時は、必ずプラグを電源から抜いて下さい。

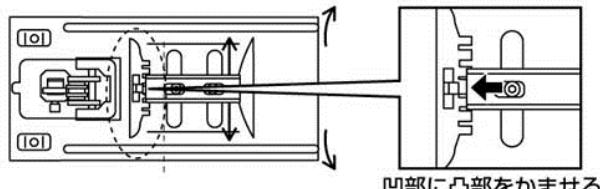
〈角度切り〉

※ベースを傾斜させる時は必ずプラグを電源から抜いて下さい。

- 1 本体底部（ベース裏側）にある角度調整ネジを付属の六角棒レンチでゆるめ、ベースをスライドさせ角度調整ネジの位置と傾斜用の溝位置を合わせて下さい。



- 2 左右どちらかの傾斜用の溝に角度調整ネジをスライドして角度目盛りを参考に角度を決め、角度目盛り後ろの凹部に本体の凸部をかませて、角度調整ネジを確実に締めて下さい。

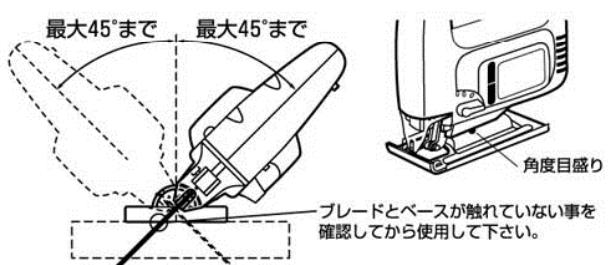


- 3 角度は最大45°まで調整できます。

使用前にブレードとベースが触れていない事を確認してから使用して下さい。

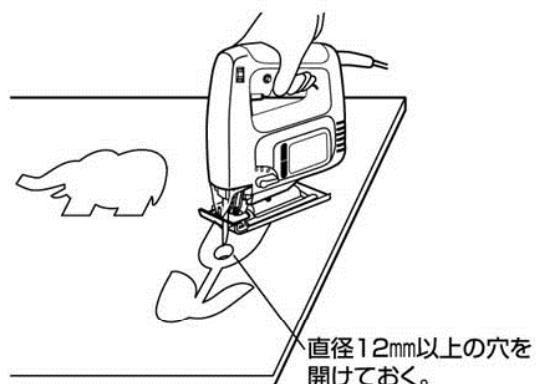
触れている場合はもう一度角度を調整して下さい。

※角度目盛りやベースの凹、本体の凸部はあくまで参考角度です。



〈切り抜き切断〉

切断を始める場所が加工材の中央部などの切り抜き切断では、あらかじめ直径12mm以上の穴をドリル等で開けその穴にブレードを差し込んでから切断を開始して下さい。



木材が薄い場合はベースの先端を加工材に当て、スイッチを入れブレードを加工材に近づけゆっくり矢印の方向に本体を起こすような感じで切り口を作ることもできます

※オービタル機能は使用しないで下さい。

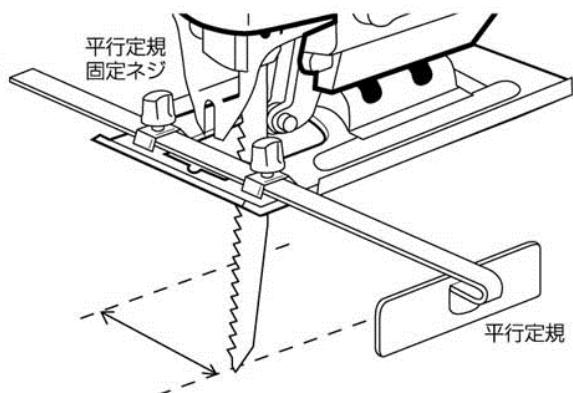
〈オービタルスイッチは『0』〉

※急激に切り込むと、ブレード折損の原因になります。



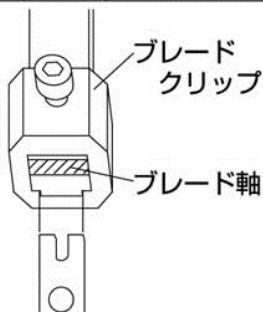
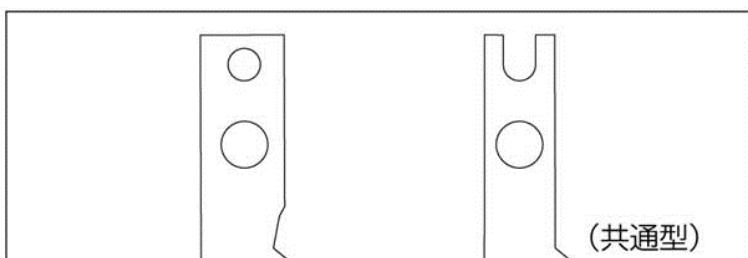
平行定規

ベース前方に平行定規を固定ネジで取り付けブレードとの距離を調整します。
定寸切断に便利です。
(目盛りはあくまで目安です。)



交換用ブレードについて

※ブレードの交換は必ずプラグを電源から抜いて下さい。



- 交換用ブレードは、左図形状のもので市販されているジグソー替刃および共通型をお使い下さい。
- 加工材・切断条件に適したブレードを使用して下さい。

注) 共通型を使用する場合は、ブレードクリップの凹部にブレードをはめ込むようにし、ブレードの取付け方法(3ページ)を参考に取付けて下さい。

保守・点検

- 摩耗したブレードを使用すると能率が悪く、またモーターにも負荷がかかります。早めに交換して下さい。ブレードは、加工材・切断条件に適したものをして下さい。
- 本機にはカーボンブラシを使用していますが、カーボンブラシは消耗品です。モーターの回転に違和感がありましたら交換が必要な場合があるのでお買い上げの販売店または（株）高儀までご連絡ください。
- 本体は常に清潔に保管して下さい。定期的に点検清掃をすることが安全・長寿命の基本です。
- メンテナンスの際、本体は水で洗わず乾いた布でふくようにして下さい。濡れた布、ベンジン、シンナーなどは使わないでください。
- 故障の際には、必ず修理に出すようにして下さい。

保証書

※保証期間内において取扱説明書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本保証書により、無償で修理致します。
(本保証書はお買い上げ商品にのみの適用ですので、一切の工事費用は適用外となります。)

JANコード	4907052 379640	保証期間	お買い上げ日より 6ヶ月
お買い上げ日		年	月 日
販 売 店	※販売店名・お買い上げ年月日の証明できるものがない場合、無効となりますので必ずご確認ください。		

※保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。

保証期間内でも次の場合には有料となります。

- (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
- (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障及び損傷。
- (二) 一般家庭用以外(例:業務用の長時間使用、車輌・船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。
- 家庭用商用電源以外での本体・併設設備の故障及び損傷。
- (ホ) 本書の提示がない場合。
- (ヘ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合・あるいは字を書き替えられた場合・個人販売など販売店名が不明な場合。

※ジグソーブレード・カーボンブラシは消耗品ですので保証期間内であっても有料となります。

発売元 株式会社 高儀



■お客様相談窓口における個人情報の取り扱い

弊社は、お客様へのサービス提供の為、収集目的を通知した上で必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがあります。個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行う為に必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

型 式	品 名
EJS-30	EM オービタルジグソーダイヤル式無段変速

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。